

豊かな大阪をつくる
～「大阪市存続」の住民決断を踏まえて～

住民投票が浮き彫りにした政治的対抗軸

関西学院大学法学部教授

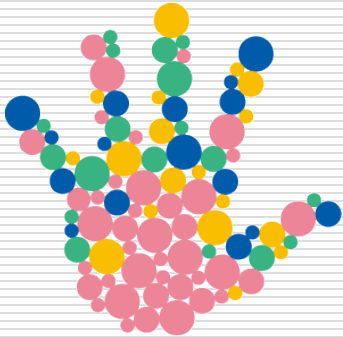
富田 宏治

「なにわの市民革命」の勝利！①

- 大阪市を廃止して、特別区を設置するか否かを問う住民投票の歴史的勝利
- 126年の歴史を持つ政令市・大阪市は市民の力で守られた。
- 橋下維新政治にトドメを刺した民意の勝利



「なにわの市民革命」の勝利②



**We Say
NO!**
5.17 Osaka



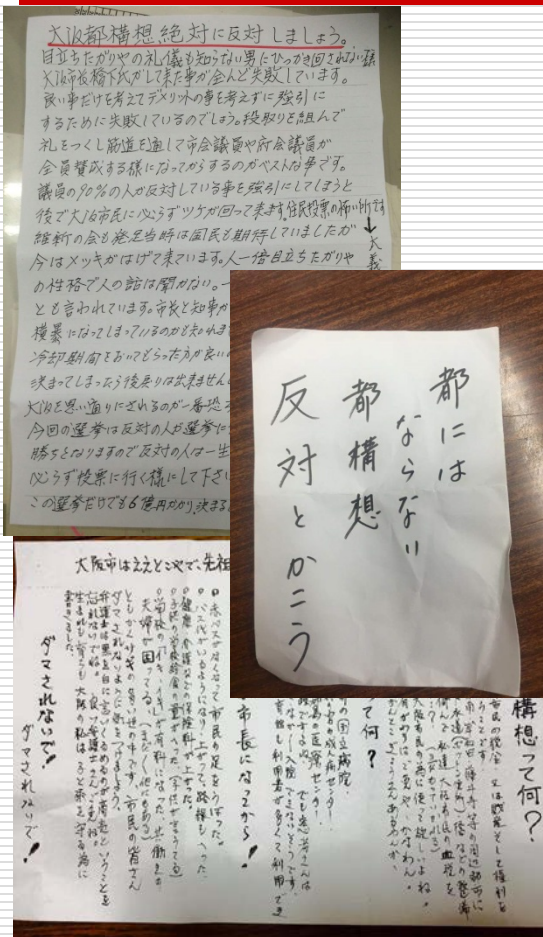
- 自民党、公明党、共産党、民主党
 - 民意の声、府民のちから、大阪市なくさんといてよ市民ネットワーク、明るい会、よくする会の市民団体
 - 地域振興会、商店会総連盟、医師会、歯科医師会、薬剤師会、商工連盟、トラック協会、バス協会、タクシー協会...
 - 保守から革新まで、文字通りの「オール大阪」の一点共闘
 - 様々な違い乗り越えた団結と信頼
-

「なにわの市民革命」の勝利③

- ❑ 路地裏宣伝、シール投票など地を這うような対話型宣伝
- ❑ SNS、動画、アニメなどの新しいメディア、ひとりひとりの得意技を活かした宣伝戦
- ❑ 顔の見える対話＝対面的対話の展開



「なにわの市民革命」の勝利④



- 次々と現れた普通の市民の手作りチラシ
- ひとりひとりの市民が自らの意思で行動に立ち上がった
- テレビCM、300台の宣伝カー、連日の新聞折り込み、2000人のオレンジTシャツ部隊、5億円以上と言われる維新の物量作戦を跳ね除けた

「民主主義の学校」となった 「なにわの市民革命」

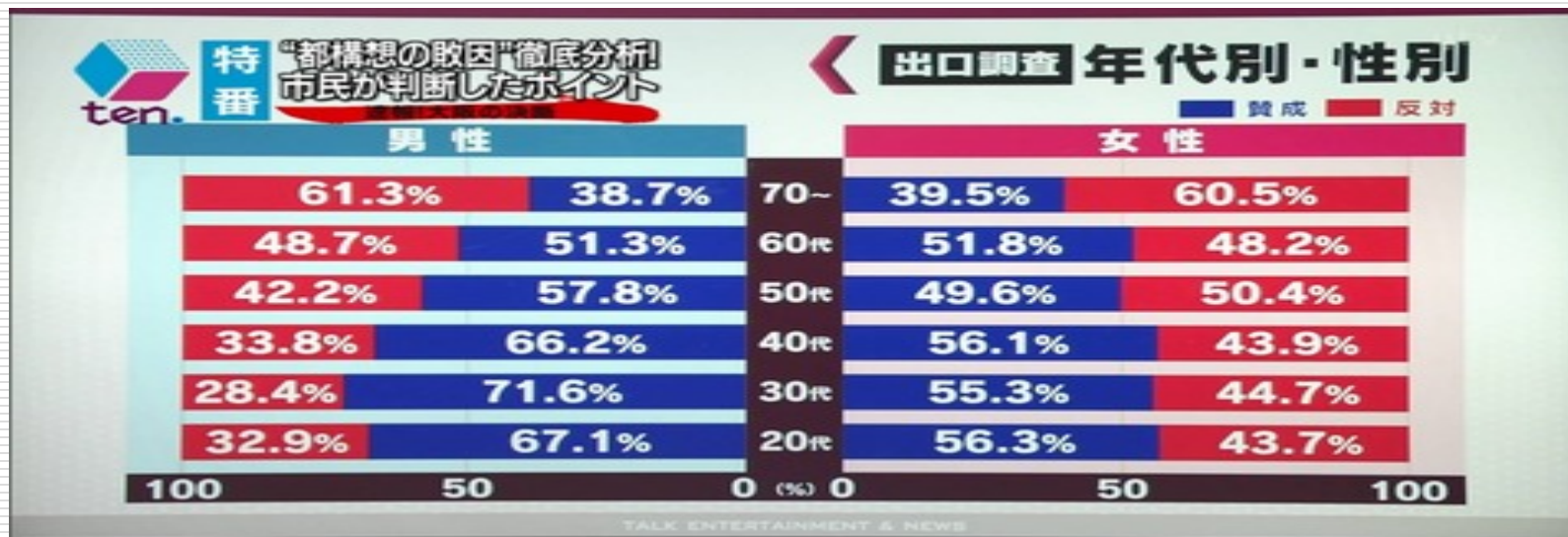
- 一点共闘の広がりと深まり
- 新しいメディアの活用、ひとりひとりの得意技の登場
- 対面的対話を広げる行動形態
- ひとりひとりの市民の自覚的・自発的行動



- 「なにわの市民革命」は民主主義の学校に
 - 改憲「国民投票」の真の予行演習に
-

住民投票の結果分析①

- 投票日の出口調査で、賛成に回った人々は...
- 20代から40代の男性の賛成度の高さ
- 男性の賛成率59%、女性の反対率52%



住民投票の結果分析②

□ 20代～30代は「都構想」支持したか？

□ 出口調査と世論調査の乖離

■ 世論調査(5月10日:『産経新聞』)の賛成率

20代女性 17.1% 30代女性 29.9%

20代男性 33.3% 30代男性 50.9%

■ 出口調査(5月17日:読売テレビ)

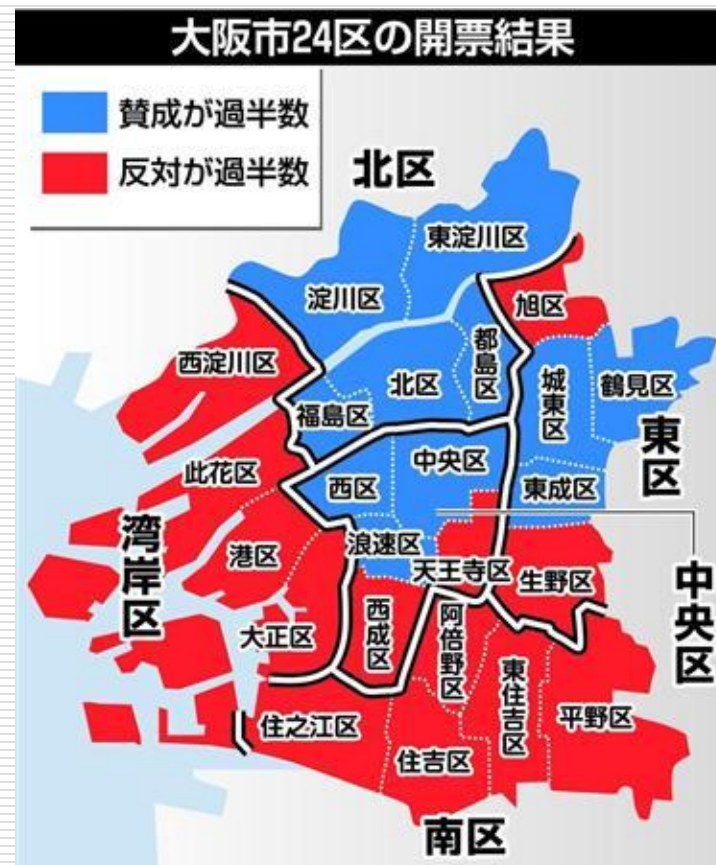
20代女性 56.3% 30代女性 55.3%

20代男性 67.1% 30代男性 71.6%

□ 最終版に煽られた賛成層が投票へ

住民投票の結果分析③

- 開票結果で、明らかに
なった反対・賛成の地域
差
- 高層マンション群が立ち
並び、比較的豊かな現役
ホホワイトカラー層が多い
地域で賛成票が多い
- 高齢者、貧困層の多い地
域で反対票が多い



維新支持層の二重構造

- 橋下維新と「都構想」のガチの支持層は、30代～40代男性「勝ち組」ホワイトカラー層と専業主婦層(30～40万票)
 - これまでの地方選、出直し市長選、国政選挙の支持層
 - 新自由主義的「改革」への幻惑
 - 重税感と貧困層・高齢層に自分の税金が回されることへの不満
 - 地下鉄民営化はじめ、民営化、民間委託などにビジネスチャンス
 - 住民投票終盤で、橋下が「政界引退」を明言し、「橋下徹という政治家を殺さないで」との煽り(ポピュリズム的手法)に乗せられた20代～30代の若年層(20～30万票)
 - 非正規化、貧困化による閉塞感
 - 「改革」「既得権益の破壊」を掲げるマッチャョなリーダーへの期待
-

日本政治の真の対立軸を浮かび上がらせた「なにわの市民革命」①

- いまの日本政治の真の対立軸は、保守vs革新ではない。
- 「市場」(新自由主義)か「再分配」(福祉、生活)か？
- 「戦争」(改憲)か「平和」(護憲)か？
- 「独裁」(多数決)か「民主主義」か？
- 「中央追随」か「自己決定」(自治)か？



- この対立軸の前に、自民党にも公明党・創価学会にも民主党にも、内部に亀裂と分断が起こっている。



日本政治の真の対立軸を浮かび上がらせた「なにわの市民革命」②



- 官邸(安倍-菅)と党三役(谷垣-二階+石破)の亀裂
 - 官邸(安倍-菅)と自民党大阪府連の亀裂
 - 地方政党「大阪自民党」立ち上げの声も
 - 創価学会内の副会長派(谷川事務総長-佐藤副会長)と理事長派(正木理事長-池田副会長)の亀裂
 - 党内に新自由主義勢力(前原、細野)を抱え、維新との連携を追求する民主党
 - 支持者を維新に奪われ、統一地方選で壊滅
-

「極右」との闘い方は堺市民に学べ



- 橋下「維新の会」を追い詰め、「大阪都構想」を頓挫させた堺市民の闘い
 - 「極右」との闘いは保守から革新までの共同の力でこそ実現できるという教訓
 - 大阪の「出直し市長選」でも、敢えて対立候補を立てないという形で共同が...
 - 安倍首相も、橋下市長も国際標準では「極右」
 - 保守から革新までの共同の力で対抗するという闘い方の鉄則も共通
-

翁長知事実現へ保革超え団結

- 元自民党県連幹事長・那覇市長の翁長雄志が保革を超えた共同候補として出馬表明
- オスプレイ配備反対、普天間基地閉鎖・撤去、県内移設断念を掲げた「建白書」(2013年1月28日)を原点に
- 安倍政権への致命的な一撃に



翁長氏圧勝!!(2014.11.16)



2014年総選挙でオール沖縄が勝利

知事 翁長雄志

那覇市長 城間幹子

翁長県政、城間市政を支える

裏切り・屈服ノー、沖縄の未来を開く1票は
1区・オール沖縄の代表

あかみね 政賢へ

私たちが応援しています ひやみち うまんの会 呉屋守将 新風会 金城徹 参院議員 糸数慶子

日本共産党

2014
院選

沖 縄

1区

当

赤 嶺 政 賢

共

前

2区

確

照 屋 寛 徳

社

前

3区

確

玉 城 デ ニ ー

生

前

4区

確

仲 里 利 信

無

新

自 民

民 主

維 新

公 明

次 世 代

共 産

生 活

社 民

改 革

無・他

残

258

47

27

29

2

14

2

1

0

9

86

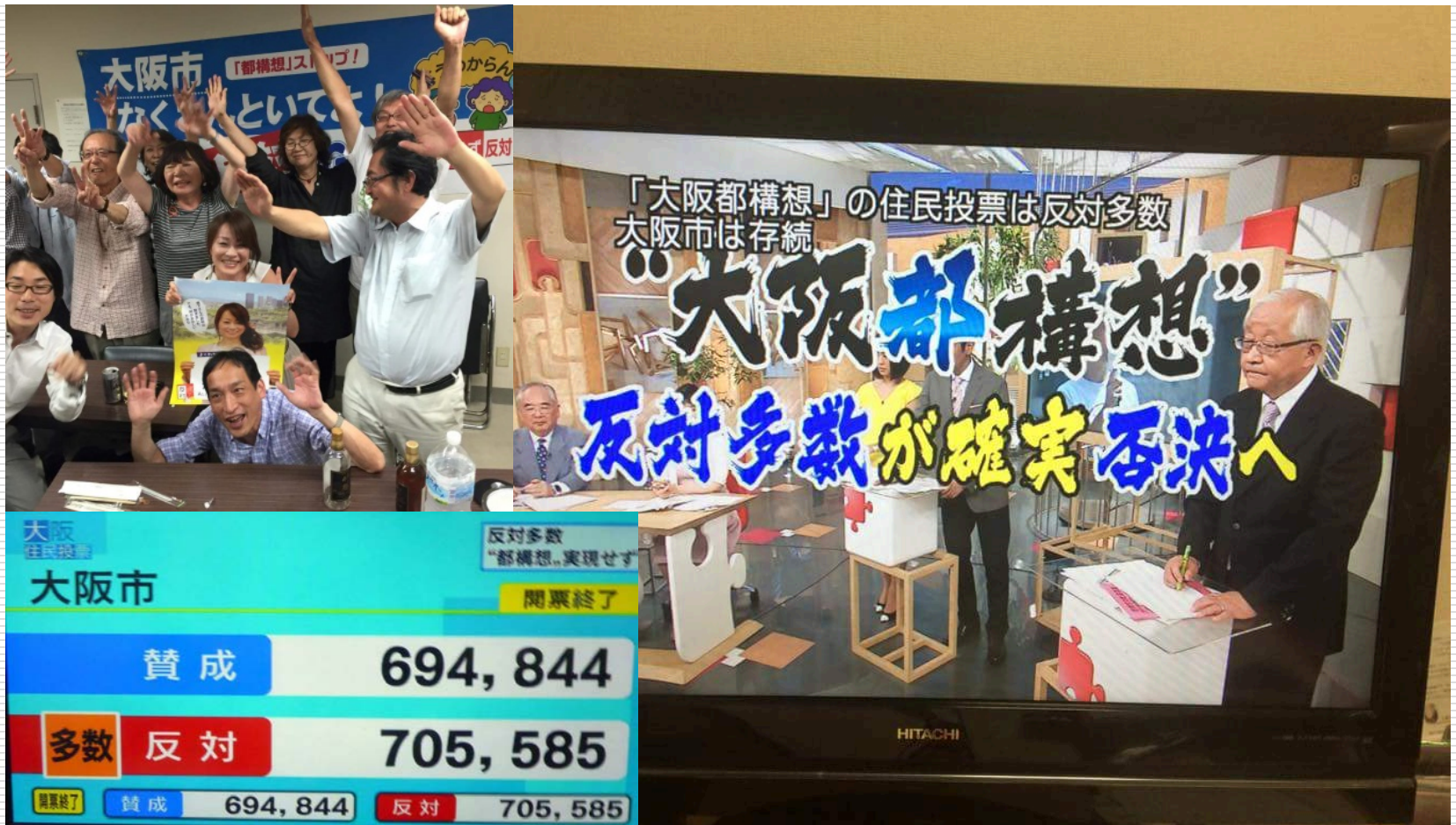
佐賀県知事選で山口よしのり氏勝利 (2015.1)一樋渡前武雄市長を破る



注意

- この掲示場は、佐賀県知事選挙候補者以外の方は使用できません。
- ポスターは、指定された区画に貼ってください。
- 掲示場を壊したり、ポスターを貼ったりすると罰せられます。

「なにわの市民革命」の勝利！



共通して起きていること

- 「経済保守」＝新自由主義、「政治保守」＝靖国派
とは相容れない「社会保守」の存在
 - 現状に強い不安と不満を持ちつつ、安倍自民党
にも民主党にも維新にも戻れない「社会保守」層
 - 「社会保守」との保革を超えた共同の可能性の広
がり
 - 「経済保守」「政治保守」と「社会保守」の分裂
 - 沖縄：翁長氏・仲里氏らが自民党から分裂
 - 大阪：自民党府連から大阪維新の会が分裂
-

往生際の悪い維新の面々



- 「大阪会議（大阪戦略調整会議）」のドタバタ劇
 - 自民の設置提案に突然賛成
 - 会議では審議を徹底妨害
 - 大阪会議失敗→「都構想」復活へ
 - 松井知事が「都構想復活」示唆
 - 11月のダブル選の争点に（7月28日）
 - 橋下市長が松井知事の知事選再出馬に期待表明（8月7日）
-

最終決着は 11月22日の市長・知事ダブル選挙へ



- 任期満了にともなう大阪府知事選挙と大阪市長選挙はダブル選挙として11月22日投開票に
- 維新政治に最終決着を
- 「なにわの市民革命」の共同の力を知事選・市長選に
- 共同の力でともに闘える候補者を
- 「再分配」「民主主義」「自己決定」の政治的対抗軸を踏まえて